

令和6年第2回倉吉警察署協議会開催状況

開催日時	令和6年6月19日(水)午後2時から午後4時5分まで	
開催場所	倉吉警察署	
出席者	委員 (定数11人)	稲嶋会長、杉原副会長、小山委員、中川委員、室山委員、 進木委員、河本委員、布廣委員、竹信委員、福山委員 以上10人
	警察	山本署長、仲山副署長、永田刑事官、前田地域交通管理官、 米村会計管理官、石賀警務課長、園山留置管理課長、石田 生活安全課長、藤本地域課長、高木刑事課長、石田交通課 長、田口警備課長、警務課員2人、警備課員 以上15人
議 事 概 要		
<p>1 自己紹介 警察出席者が、自己紹介を行った。</p> <p>2 挨拶 会長、警察署長が挨拶を行った。</p> <p>3 業務推進状況等説明 生活安全課長及び刑事課長が刑法犯の認知状況等について、また、交通課長が交通情勢について、それぞれ説明した。 委員からの主な意見、質疑等とそれに対する警察の回答は次のとおりであった。 委員：侵入盗の侵入口で、資料に記載されている「その他」とは、どこなのか。 警察：侵入口が不明なものを「その他」として、計上している。 委員：鳥取県内の交通事故の発生件数は減少傾向にある中、倉吉署管内の交通事故件数は増加しているが、その要因は何なのか。 警察：交通事故件数が増加している原因について分析をしているが、その原因はつかみきれていない。</p> <p>4 協議事項（特殊詐欺） 生活安全課員が、寸劇を交えながら特殊詐欺に関する教養を行った。 委員からの主な意見、質疑等とそれに対する警察の回答は次のとおりであった。 委員：倉吉署管内における特殊詐欺の発生件数は、令和6年4月末現在で2件であるが、阻止した件数は何件あるのか。 警察：6月18日現在、水際阻止の件数は9件である。水際阻止のほとんどが、コンビニ店員によるものである。架空料金請求詐欺の手口の多くは、電子マネーの購入を要求されるが、購入先はほとんどがコンビニであり、高額の電子マネーを購入すれば、店員も不審に思い、声を掛けてくれる。また、警察官がコンビニに立寄りする際に、毎回、店員に対して、「電子マネー購入者に対しては、警察が配布しているチェックシートを使ってください。」などと依頼を行っており、水際阻止につながっているのではないかと思う。</p> <p>5 協議事項（災害関連教養） 地域課長等が、能登半島地震に伴う石川県特別派遣体験談を発表するとともに、警備課員が、災害資機材を展示しながら、解説を行った。 委員からの主な意見は、次のとおりであった。 委員：東日本大震災のとき、泥棒が空き家に入るといふ窃盗被害が発生していることを初めて知り、ショックを受けた。そのようなこともあって、警察官によるパトロールが有効だと感じた。</p> <p>6 その他 次回協議会は、令和6年9月頃に開催する予定である。</p>		